



江戸川区立松本小学校

「挨拶」はなぜ大切なのか？

副校長

毎朝、正門前で子どもたちと挨拶を交わしています。「おはようございます」と爽やかに挨拶してくれる子、幼い兄弟とハイタッチした後に、目を見て挨拶してくれる子、声は聞こえませんが、軽く会釈をしてくれる子など、その様子は様々です。先月の生活目標は、「進んであいさつしましょう」でした。この機会に「挨拶の大切さ」について考えてみたいと思います。

「挨拶」の語源は、仏教語の「一挨一拶（いちあいいつさつ）」にあるといわれています。「挨」には、「押し開く」「互いに心を開いて近づく」、そして「拶」には、「せまる」「近づく」という意味があります。つまり、「互いの心を開き、相手の心に近づく」ということです。挨拶は、人と関わる上で重要な役割を担っているのです。

挨拶には4つの良さがあります。1つめは、「仲良くなるきっかけになること」です。挨拶は、仲良くなるための最初の一歩。何回も挨拶をすることで、「話しかけやすい人だな。」とコミュニケーションにつながるのです。挨拶をきっかけに、一生大切にしたい人に出会えるかもしれません。2つめは、「存在を認めていることを示すこと」です。挨拶は、相手がいるから声をかけようと思ってするものです。挨拶をしないということは、存在しないかのように扱っていることになってしまいます。関わったことのない相手でも、挨拶をされると「私に気づいてくれた。」と嬉しくなりますね。3つめは、「緊張をほぐすことができること」です。緊張をしても挨拶をされるとほっとしますし、自分も声を出すことで緊張を解くことができます。4つめは、「印象の良さを与えることができること」です。第一印象は、持続するともいわれています。挨拶は、出会ってすぐにするものです。少し勇気を出すことでよい印象をもってもらえるなら、挨拶をすることはとても素敵なことだと思いませんか。

また、気持ちの良い挨拶をするためには、3つの鍵があります。挨拶といっても、どんな挨拶でもよいというわけではありません。良い印象を与える挨拶と、逆に悪い印象を与えてしまう挨拶もあります。そうならないように、①**笑顔**を忘れない②**相手の目を見る**③**声の大きさを意識**することが大切です。挨拶なくして人間関係は始まりません。話しかけるかどうか迷っても、まずは笑顔で挨拶をして一歩目を踏み出すことが大事です。

『挨拶の意味』を感じながら自ら挨拶できる子に、そして、挨拶がこだまする松本小学校になることを願い、これからも子どもたちと挨拶を交わしていきます。「挨拶」について今一度ご家庭でも話題にしてみてください。

これからも、楽しみな4年生

4年2組担任

「ありがとう」という声が、今日も4年生の教室で聞こえてきます。私が自分の席で丸付けなどをしている時、ふと顔を見上げると、互いに声を掛け合って、友達の作業や学習の手伝いをしている児童をよく見かけます。

学校生活では、自分一人の作業だけではなく、友達やグループでの作業も多々あります。学習活動、掃除当番や給食当番等の様々な場面で、友達同士で声を掛け合い、助けてあげられる素晴らしさに、いつも感心します。

そんな優しくて温かい心の持ち主がたくさんいる4年生も、いよいよ来年は高学年の仲間入りとなります。閉校・統合を経て新しい環境になりますが、きっとこの4年生なら、友達と手を取り合って様々なことにチャレンジできるはずですよ。

4年生が修了するまでの残りの半年。普段の学校生活での友達同士の関わり合いや学習発表会などの行事を通して、さらなる飛躍ができるよう、子どもたちを指導し、4年生44名の力を高めていきます。

道徳授業地区公開講座

道徳担当

10月26日（土）は、道徳授業地区公開講座があります。東京都では、学校、家庭、地域が一体となって、子どもたちの豊かな心を育むとともに、学校において道徳教育の充実を図ることを目的として、平成10年から都内の小中学校等で、道徳授業地区公開講座が行われています。

2時間目は、全学級で道徳授業を公開します。

3時間目は、しろひげ在宅診療所院長 山中光茂先生をお迎えして、『生きることのステキさ アフリカと日本でのお医者さんの仕事』について講演いただきます。1～6年生の児童も講演を聞き「生命の尊さ」について考えます。「生きる」ってなんだろう？

「命」とは？ 子どもたちは、どんなことを感じるでしょう。どんなことを考えるでしょう。保護者の方も、講演にぜひ参加し、貴重な時間を共有していただければと思います。

江戸川区立松本小学校 HP：

<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/matsumoto-e/>

